

## <社会> 改善のポイント

### (1) 現状・学習効果測定の実績

学習効果測定の結果から、第5学年の正答率が目標値より上回っている。また、第4学年と第6学年の正答率が目標値より下回っている。

観点別に見ると、第5学年の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の目標値を上回っている。また、第4学年と第6学年の知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の目標値を下回っている。

正答率の上回っている第5学年の領域については、「都道府県の様子」「生活環境を支える活動」「自然災害から暮らしを守る活動」「伝統や先人の働き」の領域は目標値を上回り、「特色ある地域の様子」は下回っている。

学年の問題ごとについては、第4学年は、地図・地図記号の読み取り、写真をもとに考える問題の正答率が高く、土地の様子・年表からの読み取りの問題の正答率が低い。

第5学年は、都道府県の位置・名称、水道水の使用量・節水などの資料読み取りの問題の正答率が高く、年表の読み取り、先人の苦労や努力や産業の発展などの資料読み取りの問題の正答率が低い。

第6学年は、農業が抱える問題を解決する取り組みについて考える問題や自動車の製造行程の理解、情報を生かした産業の問題の正答率が高く、外国の国旗・農業の品種改良の理解、自然災害発生についての資料読み取りの問題の正答率が低い。

全体として、学年ごとに正答率の高い問題と低い問題に違いがあるが、教科書内容を問われるような基礎基本の学習への正答率が高い反面、問題に応じて様々な資料を読み取る力、資料を基にして考える力など、教科書内容を基本としつつも、発展した内容や既習事項に関連した内容を読み取ることが課題である。今後は、基礎的な学習の理解を深めることと共に、学習内容に関連した資料の活用も行っていく必要がある。

### (2) 課題

1	基本的な学習内容を理解に加え、発展内容や既習事項に関連した内容への学習へと学習の幅を広げる必要がある。
2	資料を読み取る力、および資料から考える力の伸張に課題がある。
3	日常的に社会的事象と学習を結び付けて考えることや体験的学習の場面が少ない。

### (3) 授業に取り入れたい改善策

1	基礎基本の学習を大切にし、知識・理解を得るうえで、主体的に学びを進めていこうとする意欲を高める。
2	資料などの情報活用能力の育成を図る手段として、ICT教材などを活用する。
3	社会的事象への関心をもつよう、本、新聞やニュースの話題などを日常的に授業で扱う。また、実体験やICT機器を活用したバーチャル体験など体験学習を増やす。

R	5	観 点		
学 年		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区のまちの特徴を一般化して知識として定着していくことが難しい。</li> <li>・大田区のまちの特徴を、地図記号を用いて白地図に表すことに慣れていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区内の土地の使われ方には気付いているが、それらを分かりやすく記述し、説明することには課題がある。</li> <li>・大田区内の様子を調べてまとめることができる。</li> <li>・資料から考察したり、資料をまとめたりすることが苦手な児童がいる。</li> <li>・地図を読むために、方位の理解があいまいで、方位を活用することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住んでいる地域や大田区に関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。</li> <li>・スーパーマーケットの見学や行ったことがある場所など、身近な学習への意欲は高い。</li> <li>・行ったことがない場所や資料から読み取るなどの学習が苦手な児童がいる。</li> </ul>
	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしたちの大田区」の資料（写真など）を活用し、社会科用語の正確な知識の定着を図る。</li> <li>・地図の正しい見方を身に付けるために、地図帳や「わたしたちの大田区」の地図や白地図を活用していく。</li> <li>・学んだことを生かして、町や生活の様子を知り、考えるようにするために、ワークシート作りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に必要な資料、見学など、社会的事象を比較しながら、地域の成り立ちや特色を考える。</li> <li>・自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする発表の場や班活動を意図的に取り入れる。</li> <li>・各種の資料から読み取れることを考え、資料活用の力や観察・調査の力を伸ばす。</li> <li>・学習課題を意識しながら、各種の資料の読み取りができるようにする。</li> <li>・ICT 機器等を使って、各種の資料を児童が比較できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が知っていることや、体験したことから、学習問題を作り、自分からその問題を調べていくような問題解決学習・単元指導計画を立てる。</li> <li>・ICT 機器等を活用し、既習事項や予想をもち、課題に対して意欲をもって取り組めるようにする。</li> <li>・「見る・知る・さわる」などの体験的な活動を増やし、実体験から学習を広げられるようにする。</li> </ul>
4	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果では、目標値を6ポイント下回っている。</li> <li>・資料から読み取ることに課題がある。資料を読み取る前の知識に課題が見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果では、区の平均正答率を3ポイント下回っている。</li> <li>・グラフから考察し、文章で表現することに課題がある。</li> <li>・写真や地図から得た情報を照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県に興味をもち、自主的に場所と名前を覚え、特産品を調べたり、クイズをしたりした。</li> <li>・「わたしたちの東京都」の学習では、産業や交通網など、</li> </ul>

		<p>られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取ったことをもとに考えを考察することに課題がある。</li> <li>・記述の項目に回答していない人が多くいる。</li> <li>・店で働く人など見学や体験をしたことについては、正答率が目標値より高い傾向にある。</li> </ul>	<p>らし合わせていくことに課題がある。目標値から低い問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現する前に自分の判断したことに自信をもてていない。</li> </ul>	<p>東京都の特徴について資料などで調べた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心が高く、自ら水やごみについての様子を調べる様子が見られる。</li> </ul>
	<b>改善のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識を唱和、視写させたり、授業の初めに基本問題に取り組みせたり、基礎知識を身に付けさせる学習を取り入れる。</li> <li>・読み取ったことからどのようなことが考えられるのか見方・考え方の経験を積む。</li> <li>・書く力に課題が見られるため、経験を積むようにする。</li> <li>・身近ではない学習内容は、映像教材やデジタル教材などの ICT 教材を効果的に活用するとともに、体験的な学習を多く取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことや考えたことを発表・記述する際に、資料のどこを読み取り、根拠としたのかを明確に書かせたり、発言させたりする。</li> <li>・学習問題を考える際、生活、人等に視点を決めて考えさせ整理する。</li> <li>・各種の資料を使って比べたり、まとめたりする学習を取り入れ経験を積む。</li> <li>・ICT 等を使って適切な情報を活用していく。</li> <li>・自分の考えが認められる環境をつくとともに、友達の見聞を聞き、考えの幅を広げられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーとして水道局の方を迎え、体験する学習を取り入れる。</li> <li>・映像教材やデジタル教材などの ICT 教材を効果的に活用する。</li> <li>・各種の資料や映像教材でわかることに加え、もっと知りたいことや疑問に思ったことを考えさせる。</li> <li>・社会科見学等を活用したり、学校内で体験できることは実施したりし、目で直接見たり体験したりする活動を多く取り入れる。</li> </ul>
<b>5</b>	<b>現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を上回っている。</li> <li>・先人の働きの苦労や努力について、資料を読み取ることに課題がある児童がいる。</li> <li>・くらしをささえる水で、飲料水確保のために、ダムが建設されていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値をやや上回っている。</li> <li>・都道府県の様子で、人口と地形の様子を関連付けて考える問題での正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を上回っている。</li> <li>・学んだことと自分たちの生活を関連付けて考える習慣を身に付ける必要がある。</li> <li>・日ごろから各種の資料に目を向け、その内容を考え、表現する習慣を身に付ける必要がある。</li> </ul>

		についての理解が不十分である。		
	<b>改善のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳や各種の資料（統計、写真など）から、分かることを読み取る活動を取り入れる。</li> <li>・単元の終わりには、プリント等を活用して復習をし、学んだことの定着を図るようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目的を明確に示し、主体的に資料に当たれるようにする。</li> <li>・資料にあたる際には、視点を明確にして調べられるようにする。</li> <li>・調べたことをもとにグループ等で交流し、考えを広げたり、深めたりできるようにする。</li> <li>・学習した内容と自分の生活を関連付けて考えている児童の発表やノートを取り上げ、表現の仕方を理解できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科見学やゲストティーチャーによる出前授業等を通して、実際に見たり、聞いたりして、意欲を高めるとともに、理解を深められるようにする。</li> <li>・社会的事象への関心がもてるよう、自分たちの身近な話題や、新聞・ニュースの話題を取り上げる。</li> <li>・タブレットの活用や、グループ学習等で、自分の考えを表現する機会を設けるようにする。</li> </ul>
<b>6</b>	<b>現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を下回っている。</li> <li>・社会的な知識が定着していないものが多い。特に北方領土、森林の役割と保全の大切さに関する問題の正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値をやや下回っている。</li> <li>・複数ある各種の資料を読み取って問題点を捉えること、自分の考えを表現することに課題をもつ児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果が、目標値をやや下回っている。</li> <li>・普段から、社会的な話題への興味をもつことが課題である。</li> <li>・日本の政治や歴史についての関心の大きさに、個人差がある。</li> </ul>
	<b>改善のポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定着が低い内容の復習に力を入れる。歴史や他教科で関連のある学習をした際に取り上げる。</li> <li>・学年のまとめでは、6年生の学習だけではなく、5年生の学習内容の復習にも取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数ある各種の資料を基に思考を深めたり、推測したりする活動を取り入れる。</li> <li>・課題について、自分の考えを書かせたり、話し合わせたりする学習を取り入れる。</li> <li>・資料集や本、ICT機器等、適切な資料を選択し、テーマに合った新聞作りができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象への関心がもてるよう、新聞やテレビのニュースで気になった話題を紹介する。</li> </ul>